

令和8年度 第1回津有区地域協議会 次第

日時：令和8年4月21日（火）午後6時30分～

会場：津有地区公民館 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 報告事項

津有・高士・諏訪区新保育園整備事業 令和8年度の事業内容及び令和9年度以降の予定について

(2) 自主的な審議

地域での新しいコミュニケーションの在り方について

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・日時：
- ・会場：

(2) その他

5 閉会

〔資料・配布物〕

- ・ 次第
- ・ 資料1 津有・高士・諏訪区新保育園整備事業 令和8年度の事業内容及び令和9年度以降の予定について
- ・ 資料2 令和7年度第10回津有区地域協議会意見まとめ
具体的な解決策②SNSのコミュニケーションツールの利用について
- ・ 資料3 津有区の自主的な審議フレームワーク

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）
- その5 個人の意見は平等に扱きましょう（一人の強い意見に偏らない）

令和8年度第1回津有区地域協議会
令和8年4月21日
3議題(1)報告事項
資料No.1
幼児保育課

**津有・高士・諏訪区新保育園整備事業
令和8年度の事業内容及び令和9年度以降の予定について**

戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園を統合した、津有・高士・諏訪区新保育園の整備に向けた令和8年度の事業内容と令和9年度以降の予定をお知らせします。

なお、令和9年度以降の予定については、事業の進捗に応じて、変更となる可能性があります。

1 令和8年度の事業内容について

(1) 建築関係

- ① 設計事業者選定プロポーザル [R8年4月～6月]
設計事業者を選定するためにプロポーザルを実施します。
- ② 基本設計 [R8年7月～R9年3月]
園舎や園庭などを設計します。

(2) 用地関係

- ① 工事資材・玉石の移設 [R8年5月～6月]
現在、建設地に置かれている市が所有する工事資材や玉石を移設します。
- ② 測量 [R8年6月～7月]
建設地の広さや高さの詳細を測量します。
- ③ 造成設計 [R8年8月～11月]
敷地の造成や外構などを設計します。

2 令和9年度以降の予定

令和9年度：実施設計、園舎などの建築工事

令和10年度：園舎などの建築工事

令和11年度：園庭などの外構工事、既存保育園の廃止

令和12年度：開園

令和7年度第10回津有区地域協議会意見まとめ


具体的な解決策 ② SNSのコミュニケーションツールの利用について

	グループA	グループB
メンバー ※敬称略	青木、近藤、竹内、中島、服部、藤井（潔）	石黒、藤井（光）、丸山（明）、丸山（勝）、山本
事務局	村山	渡邊
活用する SNS ツール	・ 公式 LINE	・ 公式 LINE
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一定数までの利用であれば無料 ・ 情報が届くのが早い ・ 一斉送信可能 ・ 各種団体から直接発信可能 ・ 情報が手元に残る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告の表示がなく、発信のみの利用が可能 ・ 必要な情報が手元で引き出せる
デメリット (懸念事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津有地区全体の規模で運用すると有料アカウントが必要 ・ 発信者を1人(団体)とすると、発信情報のとりまとめが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人が SNS を利用できる状況が整っていない
対象者		<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い（紙を見ない）世代中心
実施主体 (管理者/発信者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津有地区地域づくり協議会 	<ul style="list-style-type: none"> × 公民館（主事） …市の職員であるため、地域から発信するよう検討する ・ 地域として発信に責任を持てる組織
発信内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館行事 ・ 各種団体の情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有線放送のページングと同様の機能 …ごみの出し方（違反ごみ）、行方不明者など
対応方法の工夫など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸野目町内会で実施中（町内会アンケート結果：LINE8割、有線5割の住民が活用） ・ 紙との併用が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10～20年後を見据える ・ しばらくは紙と併用必要 ・ 発信内容には責任が伴う
利用団体等に 確認したい事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ 発信のルール（内容の基準、精査方法など）

地域での新しいコミュニケーションの在り方 について

地域や世代間の更なる交流を図り、将来を見据えた新たなコミュニケーションの在り方について検討する。

津有区の自主的な審議フレームワーク

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報が個人まで届きにくい ・回覧程度しか情報発信・収集手段がない ・公民館で地域の情報を共有できる
原因（問題）分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	<ul style="list-style-type: none"> ・南部と北部間のコミュニケーションに距離感を感じる ・地域活動への関心が低い ・公民館に地域の情報が集まる
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>○検討のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津有南部・北部、他地域との協力関係をより深める ・公民館を中心とした情報収集・発信を活用 ・必要な時に地域の情報を確認できる ・10年から20年後を見据えて検討する <p>具体的な解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「家庭内回覧」スタンプの押印 ② SNSのコミュニケーションツール（LINEなど）の利用 ③ ごみ集積所を掲示板として活用 <p>事務局提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 地域共通のお知らせ目印の作成（柄、色など）
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていけば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	

解決策のための協議事項（④ 地域共通のお知らせ目印の作成）

実施主体	
利用者、団体	
利用のタイミング	
利用対象エリア	
柄、色（デザイン）	
デザインの決め方	
活用周知方法	
必要経費	
その他	